

「九州電力グループ中期経営方針」〔平成 27～31 年度〕 及び 「平成 27 年度経営計画の概要」について

当社はこれまで、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長を続けてまいりました。

近年では、平成 25 年 4 月に中期経営方針〔平成 25～27 年度〕を策定し、原子力発電所の全基停止に伴う厳しい収支・財務状況、需給状況下で、経営効率化、原子力発電所再稼働への取組み、需給対策、信頼向上の取組みを推進してまいりました。

一方、外部環境に目を向けると、平成 28 年には電力システム改革に伴う小売全面自由化が予定されており、今後、本格的な競争時代を迎えることとなります。

こうした競争環境下においても、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九州電力の思い」を実現し、お客さまから信頼され、選ばれ続けるためには、グループ一体となった変革を加速させていく必要があることから、平成 27～31 年度の 5 か年を対象とする新たな中期経営方針として「九州電力グループ中期経営方針」を策定しました。

本方針では、「2030 年のありたい姿」と、その実現に向けた 3 つの戦略を柱として定め、平成 27～31 年度の 5 か年において重点的に取り組むべき施策を示しています。

2030 年のありたい姿

「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループ
～やっぱり！エネルギーは九電グループ～

また、「九州電力グループ中期経営方針」の実現に向けた今後 5 か年の当社の具体的取組みをとりまとめた「平成 27 年度経営計画の概要」を策定しましたので、あわせてお知らせいたします。

以 上